回覧・掲示用

えどがわボランティアセンターだより

出会い ふれ合い 助け合い

31年4月発行
第37号

【発行】公益財団法人えどがわボランティアセンター
〒132-0031　江戸川区松島 1-38-1
電話：03-5662-7671　FAX：03-3653-0740
E-mail：edo-vc@city.edogawa.tokyo.jp

ここでもボランティア

水辺に笑顔が広がる街に！

～水辺環境創造グループ（みずかん）～

水辺の清掃とカヤック体験

このグループは、区の南部を東西に流れる新川や新左近川を中心に、定期的にカヤックを使った水辺の清掃活動とカヤック体験の機会を提供しています。

活動は4月～11月（今年は3月31日から）の毎月1回日曜日。午前中は陸上班と水上班に分かれて清掃活動。水上班は、カヤックを操船しながら川面や川のよどみ、岩の間に挟まったゴミを集めます。

集まったゴミは、ポリ袋やペットボトル、びん、かんなど、護岸のものも含め毎回5～6袋（45㍑）にもなります。

午後は、きれいになった川でカヤック体験。初めはちょっとドキドキしますが、とても安定していて、どなたでも楽しむことができます。

人々が憩い、交流する水辺に

「みずかん」は、江戸川区が実施した景観まちづくりワークショップの参加者を中心に、活動の趣旨に賛同する方々が集って結成されました。

東に江戸川、西に荒川、縦横に中小の河川が走る江戸川区。その恵まれた水辺の魅力を活かし、子どもやお年寄り、障がい者など多様な人々が集い、交流できる場を作りたいとの思いで、誰でも親しめるカヤックを通じて活動しています。

カヤックに乗ってゴミ集めをしていると、散歩やジョギングをする人、子ども連れのお母さん、護岸を行き交う様々な方々が「ありがとう」などと声をかけてくれたり、護岸のごみ拾いを手伝ってくれるなど、小さな交流が始まります。

災害時の移動手段にも

いつ襲ってくるかわからない災害。災害時、がれきの残る道路などでは歩行が困難となりかねません。水害時にかかわらず、カヤックは歩行困難な方の移動や荷物の運搬にも役立ちます。「みずかん」では、カヤックは安全な乗り物ですが、普段から体験していただくことをお勧めしています。

ボランティア募集中

代表の安田さんは、「水辺環境をさらに向上させ、子どもたちの世代に引き継ぐために、一緒に活動してくださる方、特に若い世代の皆さんの参加をお待ちしています。地域で仲間がほしい方、カヤックを漕いでみたい方、お一人でもお友達と一緒でもお気軽にお越しください」と話しています。

問合せ先：みずかん事務局　担当：斎藤　電話：03-6808-4461
http://facebook.com/mizubekankyou/

平成31年度 事業紹介

普及・啓発・体験

○えどがわボランティアフェスティバル
［7月14日(日)］
○夏のボランティア体験［夏休み期間中］
○出前！ボランティア体験
［各学校、団体からの要請により随時］
○外国人・障がい者の災害体験［9月予定］
○始めませんか！ボランティア［未定］

ボランティア入門講座

○日本語ボランティア［年1回　秋開講予定］
○手話ボランティア［年2回　5月、10月予定］
○音訳ボランティア［年1回　9月予定］
○デイジー録音図書製作ボランティア
［年1回　予定］
○傾聴ボランティア［年1回　予定］

災害ボランティア関連事業

○地域防災講座
「大災害！そのときあなたは？家族は？地域は？」
［初級：年2回、中級：年1回予定］
○災害時ボランティア研修会［年1回：詳細未定］
○区災害ボランティアセンター設置・運営訓練
［年1回：詳細未定］

登録ボランティア(個人・団体)への支援

○活動室、印刷機の利用＜予約制＞
［グリーンパレス・清新町各活動室 9:00～21:00］
○パソコン、プリンターの利用＜予約制＞
［各1台：グリーンパレス活動室内での利用］
○ボランティア保険の一部助成［上限300円］
○団体活動費の助成［原則4万円］
○交流の機会・場の提供［ボランティア交流会など］

あなたがイメージするボランティアの絵画(ポスター)を募集中!!

「ありがとうと言われた思い出」や「おもいやり」、「してもらって嬉しかったこと」などを思い浮かべて、あなたがイメージする「ボランティア」の絵を描いてみませんか？

応募作品は全て、「えどがわボランティアフェスティバル」(7月14日(日)タワーホール船堀で開催予定)の会場に掲示するほか、7月16日(火)～7月31日(水)グリーンパレスの1階で掲示する予定です。たくさんのご応募お待ちしております。

2018年の最優秀作品

◆ 応 募 条 件 ◆

- 八つ切りサイズの画用紙（39.2cm×27.1cm）の画用紙横書き　●区内在住、在勤、在学の方
- 締切は5月17日(金)まで　センター必着（グループやお友達同士の共同作成もOK）
- 最優秀作品は、ボランティアフェスティバル PR 用ポスターに採用します。
- 最優秀作品、優秀作品に選ばれた方には、すてきな記念品を差し上げます。

災害ボランティアセンター運営訓練報告

2月2日、江戸川区社会福祉協議会とボランティアセンターが共催し、災害ボランティアセンター運営訓練を行いました。当日は、登録災害ボランティアをはじめ区、警察、消防、JC江戸川区委員会のメンバーなど、約70人の関係者が参加し、全国各地から駆けつけていただくことを想定してボランティアの方々をいかにスムーズに受け入れるか、受付からマッチング、送り出しまでの実施訓練を行いました。その後、益城町社会福祉協議会製作の「熊本地震から未来へ」と題するDVDを鑑賞しました。平時の訓練がいかに大切か、を改めて認識した訓練となりました。　**「登録災害時ボランティア」募集中!!**

ありがとう

（1月・2月分）
ボランティアの振興に有効に使わせて頂きます。

寄付(1件)
匿名　50,000円
使用済み切手
受領56件　14.3kg

ボランティア団体登録数

登録団体数：210団体　登録人数：6,461人
（平成31年2月現在）

ボランティア募集情報

募集情報の掲載を希望される施設・団体の方は、ボランティアセンターまでお問い合わせください。
TEL:03-5662-7671　FAX:03-3653-0740

（子ども支援）

第43回わんぱく相撲江戸川区大会ボランティア募集

地域の子どもたちの心身の鍛練と健康増進を目的に「わんぱく相撲江戸川区大会」を開催します。大会を支えて下さるボランティアを募集します。

日時…5月11日（土）　13時～21時（前日準備）
土俵設置、サブイベント準備、各種運営準備
5月12日（日）　7時～17時（当日運営）
場内外警備、小学生誘導、片づけ
対象…区内在住の中学生以上の方
会場…江戸川区総合体育館（松本1-35-1）
交通費・食事…支給なし
その他…動きやすい服装で
連絡先…JC江戸川区委員会：岩楯
TEL090-7172-7979

（有償ボランティア）

なぎさ虹の会

困った時に助け合う、会員制システムです。ボランティアの方の活動可能な日時や内容に合わせますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

内容…料理・掃除・見守り・散歩・話し相手・病院の付添い・福祉車輌運転・コミュニティカフェのお手伝い等
日時…ボランティアの依頼が入ってきたら随時
場所…葛西地域
交通費…あり（上限420円）　**食事**…なし
※報酬は、1時間700円～(内容による)
※会員制システムのため入会金・年会費がかかります
連絡先…NPO法人なぎさ虹の会　担当：樽井・折田
TEL050-3802-2816

（熟年者支援）

なごみの家小岩・松江北・長島桑川

なごみの家では、地域の方々にご協力いただいて、「一人で生活しているのは不安」「夜は家族がいるけど、昼間は一人なので訪問してほしい」などのご要望のある方のお宅を訪問する活動を行っています。
見守り支援活動に協力してくださるボランティアさんを募集しています。

日時…ご相談の上決定
申込・問合せ…
なごみの家小岩（東小岩5-19-8／3658-4753）
なごみの家松江北（中央2-13-12／3652-4753）
なごみの家長島桑川（東葛西6-34-1／3680-2753）

（熟年者支援）

ふれあい訪問員

熟年者の方のご自宅へ訪問し、お話し相手をすることにより、不安や寂しい気持ちを少しでも和らげるお手伝いをするボランティアです。

内容…区に訪問を希望された方に対し、定期的に訪問活動を行います。また、お電話による月に1度の安否確認を行います
※申込書類をご提出後、面接を行います
連絡先…江戸川区福祉部福祉推進課孝行係
TEL03-5662-0314

（熟年者支援）

デイサービス江戸川邸（南葛西6-34-12）

内容…お話し相手、レクリエーションお手伝い他
日時…月～土曜で応相談
連絡先…TEL03-6808-8101　傍島（そばじま）

（子ども支援）

学習支援ボランティア

江戸川区では、すべての子どもが明るい未来を思い描けるよう区内各所で学習支援事業を行っています。子どもとふれあうことが好きな方、子どもに寄り添う活動がしたい方などにおすすめです。まずは、説明会にお越しください。
問合せ　NPO法人キッズドア　土井（どい）、合田（ごうだ）　TEL03-5879-4066

名称	学習者	ボランティア募集対象	学習会開催場所	開催曜日	開催時間
1655勉強cafe	中高生	大学生、専門学校生～20代の社会人	6カ所の共育プラザ	※	16:55～20:00
江戸川さくら塾	中学生	大学生、専門学校生～社会人	タワーホール船堀	土	14:00～16:00 16:30～18:30
			長島桑川コミュニティ会館	日	10:00～12:00 13:00～15:00
			上一色コミュニティセンター	土	14:00～16:00
さくら塾ジュニア	小学5、6年生	高校生～社会人	上一色コミュニティセンター 長島桑川コミュニティ会館	日	10:00～12:00
さくら予備校	高校生	大学、専門、社会人	上一色コミュニティセンター	土	18:00～20:00
e-りびんぐ	小中学生	大学、専門、社会人	上一色コミュニティセンター	月、水、木、金	15:00～16:30 17:30～20:00

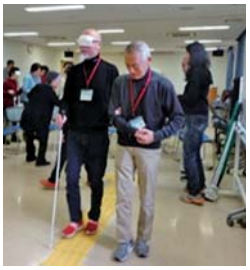
※開催曜日　一之江・平井(火)、南篠崎・小岩(水)、葛西(木)、南小岩(金)

ボランティア通信「やまびこ」コーナー

※江戸川区福祉ボランティア団体協議会の情報コーナーです。

区民向け講座　～障がいを知ろう～ 2月16日葛西区民館で開催！

手話での講演を通訳を介して聞きました



ガイドヘルプの体験▶

▼車いす操作の体験

○心のバリアフリーを　～江戸川区障害者福祉課山脇係長講演～

はじめに、山脇係長さんに、障がいの種類や特徴をご講演いただきました。

障がい者支援のボランティアサークル活動や障がい者施設での経験からのお話、映画「こんな夜更けにバナナかよ」の紹介等を通して、障害についてわかりやすく説明いただきました。障がいの特性に応じた配慮は必要ですが、接し方、コミュニケーションの方法は人それぞれで違い、大切なことは心の交流だということを学びました。

○障がい当事者の講演

仕事をもち、ボランティア活動もされている、視覚障がい者、聴覚障がい者、車いす利用者の3人の方から、どのように障がいと向き合ってきたか、日常生活で不便に思うこと、趣味などについてお話を伺いました。不便に思うことはそれぞれに違いますが、例えば、視覚障がい者には「信号が赤ですよ」や「お手伝いしましょうか」の声掛けなど、ちょっとした気遣いがうれしいということでした。

後半は、車いすの操作方法と視覚障がい者の同行支援の方法を体験し、障がい者への理解を深める良い機会となりました。

家族と介護について考える　未来志向型トーク＆ライブ 「介護が始まる前にできること」　～家族のつながりとは～

講演会の様子

○総勢110名もの方々に参加をいただきました

2月25日（月）グリーンパレスで、介護デザインプロジェクトチーフアドバイザーの小子内（おこない）智佳子氏とギター奏者・小谷哲典氏をお招きし、「介護」をテーマにした講演会を開催しました。ギター演奏をはさんだ趣のある講演会で、110名の区民の皆さんが楽しまれました。

○介護を「自分事化」するということ

この講演では、介護の知識だけでなく、実際の介護現場での出来事をエピソードとしてお話いただきました。特に重要なのは、自分の家族に介護が必要になったら、もし自分自身に介護が必要になったら、と「自分事化」して考える必要がある、とのことです。

また、自宅で介護するか施設にお願いするか、普段から家族と話し合っておくことが大切だとおっしゃっていました。講演の合間には、大切な家族への思いが込められたオリジナルソングを披露され、参加者の中には、思わず涙ぐむ方もいらっしゃいました。

小子内さんによる講演

○参加者の皆様に脳トレを体験いただきました

講演の合間には、ジャンケンをしてわざと負ける「脳トレ」も行いました。動作は単純ですが、実際にやってみると四苦八苦されている人がほとんどで、会場は笑いに包まれました。

今回は涙あり、笑いありで大好評の講演会となりました。当会ではこれからも、魅力的な講演会等のイベントを企画したいと思います。お楽しみに。次回も是非ご参加ください。